

鹿児島県の地域づくりに公民館が果たした役割の 歴史的検証と現代への継承・発展

-鹿児島県日置市を事例に-

酒井佑輔・農中至（法文学部法経社会学科地域社会コース）

プロジェクトの目的

鹿児島県のコミュニティ施策および地域づくり諸政策においてその活動拠点となってきた条例公民館の役割や意義について鹿児島県日置市を事例に検証する。くわえて、その研究成果を学生や日置市の行政職員や地域住民らと共有し、対話の場をもうけることで、鹿児島県のボトムアップ型の地域活性化へとつなげるものとする。

プロジェクトの実施内容

（１）日置市の社会教育や地域づくりに関わる関係者へのインタビュー・関係資料収集



・日置市社会教育課や地域づくり課、自治公民館館長、地域づくりにかかる地域住民に対してインタビュー調査を実施。

（２）日置市社会教育関係者の交流会・シンポジウムの開催



・2/28午前に日置市の社会教育・地域づくりを考える対話の場を開催。日置市長や教育長、同市社会教育・地域づくり課や本学関係者、鹿児島県かごしま県民大学中央センター職員ら20名程度が参加。

・同日午後に社会教育シンポジウムを開催。東京大学牧野教授による基調講演と文部科学省職員や日置市教育長らによるパネルディスカッション。150名程度が参加。

（３）シンポジウムを踏まえた地域での交流会



・3/19に日置市吹上地域にて条例公民館を基盤とする社会教育推進に向けた対話の場を開催。

（４）主に（１）を踏まえた関係動画の作成、SNSでの情報発信



酒井ゼミ学生有志の
インスタアカウント



日置市の公式
youtubeアカウント

鹿児島大学 法文学部附属「鹿児島県の歴史」教育研究センター 令和6年度地域マネジメント教育研究プロジェクト

日置市
**社会教育
シンポジウム**
～未来に向けて地域自治を守り育てる社会教育の可能性～

入場無料

現代の日本社会では少子高齢化や過疎化、地域自治の担い手不足、人びとの孤立・孤独化によって社会教育・公民館の役割やその可能性が見直され始めています。日置市でも社会教育推進に向けた議論や基盤の再整備が進められています。そこでシンポジウムでは、日置市の社会教育の方向性や在り方について皆さんと一緒に考えます。

シンポジウム内容

【基調講演】
ちいさなしあわせを重ねあわせるー重層的コミュニティ自治の試みと社会教育
第1部 講演 牧野 篤（東京大学大学院 教育学研究科 教授）
【パネルディスカッション】
「日置市の地域自治を守り育てる社会教育推進に向けて」
第2部 【パネラー】
奥 善一（日置市教育長）
山川 喜葉（文部科学省 地域学習推進課 課長補佐）
牧野 篤（東京大学大学院 教授）

2/28 13:00
15:30

場所
日置市中央公民館中ホール
日置市伊集院町一丁目100番地

申込方法
右記QRコード または
以下の電話かメール

【後援】 鹿児島県教育委員会・日置市教育委員会
【企画・実行】 鹿児島大学 法文学部 法経研究室 TEL: 099-285-7292 MAIL: sakai@leh.kagoshima-u.ac.jp